

(活動報告書様式)

助成事業実施 団体名	特定非営利活動法人 パートナーシップオフィス			
実施事業名	県内外の大学生を対象とした海洋ごみ問題に係る啓発・交流活動			
助成事業区分	※該当する事業名を○で囲んでください。 協働助成事業（一般型） 【県政課題名： 】 ○協働助成事業（テーマ希望型） 【庄内銀行 次代に繋ぐ山形の豊かな自然 ～森・川・海と繋がる環境保全、地域資源の利活用支援事業～】 団体支援助成事業			
団体の所在 市町村名	酒田市	事業費及び 助成額	事業費 助成額	458,583 円 450,000 円



●事業目的

深刻化している「海洋ごみ問題」では、とくに日本海沿岸において著しい被害が生じている。中でも、庄内海岸の全域に海洋ごみが大量に漂着している。山形県では西暦 2000 年頃より、行政、NPO、大学、民間事業者などによって回収活動等に取り組んでいるが、啓発や環境教育活動の展開も重要となっている。そこで、県外ボランティア学生団体の協力を得て啓発・交流活動を実施し、平成 28 年度の豊かな海づくり大会を機にした学生交流イベント(仮称・海ごみ学生サミット)の開催の実現につなげていく。

●実施内容

2015 年 8 月 21 日-23 日

庄内海岸及び飛島西海岸の状況把握と回収活動を実施

2016 年 3 月 1-2 日

かんぼの宿酒田において、県内外学生によるワークショップを開催

●事業の成果及び今後の展望

平成 28 年度の「第 36 回豊かな海づくり大会」の開催を機会に、記念事業の一つとして、9 月 1-5 日に本事業のワークショップにおいて立案された活動プログラムを基に実施する。想定している内容として、①県外から 200 名程度の大学生が県内海岸の漂着ごみの回収活動を実施、②県内大学の中に海洋ごみ(海洋環境)問題へ取り組む学生クラブ等が設立され、③啓発等の活動リーダーが育成される、ことを図っていく。また、県内外の学生同士の交流が創発される。